

-(으)ㄹ지언정

たとえ～しても（～はしない）

強い決意を示す文語です。「たとえそうであっても、これだけは譲らない」という文脈で使われます。

■ つけ方

語幹	形	例
パッチムなし	-ㄹ지언정	굶다 → 굶을지언정
パッチムあり	-을지언정	죽다 → 죽을지언정
ㄹ 語幹	-ㄹ지언정	살다 → 살지언정
後ろ	強い否定	-지 않겠다 / 못 한다
名詞	일지언정	학생일지언정
続けて書く	지언정 は語尾	굶을지언정 (○)

■ 使い方と注意

強い決意を示します。굶을지언정 남의 것을 훔치지는 않겠다（飢えても人のものを盗みはしない）。

後ろに強い否定が来ます。「たとえAになっても、Bはしない」という組み立て。前半に最悪の事態、後半に譲れない一線を置きます。日本語の「たとえ～ても」より決意が強い響きです。

文語です。小説、演説、格言で使われ、日常会話にはまず出てきません。-더라도 が日常的な代替になります。

前半には受け入れがたい事態を置くのが典型です。죽을지언정, 굶을지언정 など。

■ 例文

- 1

굶을지언정 남에게 손을 벌리지는 않겠다.
飢えるとしても、人に手を差し出すことはしません。
- 2

늦을지언정 대중 하지는 않겠습니다.
遅れるとしても、いい加減にはしません。
- 3

손해를 볼지언정 원칙은 지키겠다.
損をするとしても、原則は守ります。
- 4

몸은 떠날지언정 마음은 여기 두고 갑니다.
体は離れるとしても、心はここに置いていきます。
- 5

직접 만들지언정 남의 것을 베끼지는 않는다.
自分で作るとしても、人のものを真似ることはしません。
- 6

가난할지언정 부끄럽게 살지는 않았다.
貧しくとも、恥ずかしい生き方はしませんでした。

■ 紛らわしいもの

-더라도
「としても」で日常的な仮定の逆接です。지언정 は決意が強くなります。
늦더라도（日常） / 늦을지언정（決意）

-아/어도
現実的な逆接です。지언정 は極端な仮定に使います。
늦어도（現実） / 죽을지언정（極端）

-(으)ㄹ망정
ほぼ同じ意味の文語です。6級の項目になります。
굶을망정 / 굶을지언정

■ まちがえやすい点

- ✕

굶을지언정 밥을 먹겠다.
- 굶을지언정 훔치지는 않겠다.

後ろには強い否定を置きます。
- ✕

굶을 지언정
- 굶을지언정

語尾なので続けて書きます。
- ✕

친구야, 굶을지언정 안 먹어.
- 친구야, 굶어도 안 먹어.

日常会話では 아/어도 が自然です。